

Raymond Academy

レイモンド学園だより No.46

2023年 6月

主の御名を賛美いたします。レイモンド学園のために篤いお祈りを感謝いたします。

今回のお便りは昨年度の4学期と今年度1学期の様子をお知らせいたします。3月の卒業式、そして4月の入学式が終わったと思っているうちに、あっという間に数ヶ月が過ぎ去ってしまいました。いつもお祈りくださる皆様にご報告が遅れましたことを深くお詫びいたします。

月毎にイエス様のご性質を学んでいますが、今回は「従順な」というテーマのチャペルでのメッセージを掲載いたします。生徒が毎週みことばから、主のご性質を学んでいることをお知らせいたします。

学園長 伊東美穂

「従順な」

「それからイエスは一緒に下って行き、ナザレに帰って両親に仕えられた。母はこれらのことをみな、心に留めておいた。」(ルカ2:51)

真珠の一粒は小さな存在かも知れませんが、つながると美しさが増します。私たちが神様に「はい」と答える一つひとつの出来事も、小さなことかも知れません。

イエス様の母、マリアは従順な人でした。天使から「あなたはみごもって、男の子を産みます。名をイエスとつけなさい」と告げられた時「ほんとうに、私は主のはしためです。どうぞ、あなたのおことばどおりこの身になりますように」と答えました(ルカ1:26~38)。マリアは、天使の言ったことが何を意味するか、その時は分かりませんでした。34年後、自分の産んだ息子が、目の前で十字架に付けられて殺されるとは、思ってもいなかったことでしょう。イエス様がお生まれになった夜、御使いと羊飼いの訪問を受けた後、マリアは「これらのことをすべて心に納めて、思いを巡らしていた」(ルカ2:19)と聖書は記しています。

また、イエス様が12歳になってエルサレムの神殿に行った時、いなくなったと思ったら、神殿の中で大人たちと話をしていました。その時イエス様は両親に「どうしてわたしをお捜しになったのですか。わたしが必ず自分の父の家にいることを、ご存じなかったのですか」と言いました。その時もマリアは「これらのことをみな、心に留めておいた」と聖書は記しています。

「心に納めて、思いを巡らす」とは「糸を通してつなぐ」という意味があります。マリアは人生を通して、何度も「はい、神さま」と答えました。不思議だな~と思うこと、何でだろう?と思うことがあっても、「それはいやです」とか「こっちの方が良いと思います」

とは言いませんでした。

従順さの鍵は、マリアのように、神様のなされる様々なことに対して、その度ごとに「はい」と言うことです。「献身の生涯」の素晴らしさは、その「はい」がたつらなって生まれます。それは真珠のネックレスのような美しさを表します。

今、あなたは、神様にどんな「はい」を言う必要があるでしょうか。どうすれば、もっと神様に従順になれるでしょうか。神様が今与えてくださっている環境において、従うべき人に「はい」と答えることができるようになりたいです。イエス様も、地上の両親に従われました。レイモンド学園での生活は、従順について学ぶ良い訓練の時です。

【報告】

【2022年度 4学期】

1月27日(金) Field Trip in 崎陽軒



長年の念願だった崎陽軒の工場見学に行きました。おなじみの商品が製造される過程を間近に見ることが出来、とてもよい学びの時となりました。できたてのシウマイの試食もさせて頂き、教師、生徒共に大満足でした。見学後は岸根公園で元気いっぱい遊ぶこともでき、とても楽しい遠足となりました。



3月1日(水) Quarterly Trip in 森永製菓



2022年度最後のQuarterly Tripは、森永製菓の工場見学でした。いつも食べているお菓자에長い歴史があることを知るよい機会となりました。見学後は三ツ池公園に行き、みんなで楽しく遊びました。充実した一日となりました。

3月10日(金) 2022年度修了式&卒業式



2022年度は谷口みのりさん、ロケチェリッシュ恵さんの2名の卒業式でした。これまで成長させて下さった主に感謝します。

二人とも、神様が導いて下さった道へと歩みを続けていきます。その門出を心から喜び祝福しましょう。

3月20日(月)～24日(金) Supervisors' Training



今年で 16 回目になる ACE スーパーバイザーズ・トレーニングが行われました。
今年度は 1 校の新しい学校がスタートしました。

【2023年度 1学期】

4月6日(金) 入学式&始業式



今年度は、新小学 1 年生の井原憐君と新
中学 1 年生の古波津歩子さんが新入生とし
て入学されました。13 名で新たなスタート
を切りました。それぞれの学びが祝福され
ますようお願いください。



5月2日(火) 全員遠足 in 大池公園



新入生の歓迎遠足として、大池公園に出かけま
した。3 年生以上は、往
きは徒歩で頑張りました。
公園では鬼ごっこやフ
リスビーなどを楽しみま
した。楽しい交わりのひ
と時でした。

5月23日(火) 赤嶺艶子先生、藤田桂子先生来校



フィリピンで宣教師として働かれている赤嶺艶子先生が来校されました。先生がどのようにして宣教師に導かれたか、フィリピンでどのような宣教活動をされているのかなどについて、熱く語って下さり、生徒達も熱心に耳を傾けていました。また、エレミヤチャレンジでご指導くださった藤田桂子先生も一緒に訪ねて下さり、祝福の時となりました。

6月15日(木) 金子道仁先生国政報告会



参議員議員として働かれているグッドサマリタンチャーチ牧師の金子道仁先生の国政報告会で、賛美と暗唱聖句の発表をしました。その後持たれたチャーチスクールの交流会では、高校生のロケ理生君と田村優輝君が証に立ちました。

6月16日(金) Quarterly Trip



1学期のQuarterly Tripは、学校で映画を観ました。低学年は「アンパンマン【いのちの星のドーリィー】」と「スーパーブック」、高学年は「Facing the Giant」を観ました。映画鑑賞の後には美味しいピザとドリンク、スナックをみんなで食べ、楽しいひと時となりました。

【生徒のキャラクタートレイツ】

「自制心のある」

小学5年生

今月は「自制心のある」ということを学びました。定義は「私自身の心を従わせること。聖霊にすぐに服従する」です。

献仁先生はチャペルで、詩篇 34 篇 11 節から 13 節を開かれました。そして、自分の舌を制することは、私たちにとって簡単ではないと話されました。私は、13 節の「あなたの唇にあざむきを語らせるな。」が心に残りました。

私は疲れている時やあせっている時に話をすると、家族や友達に対してきつい言葉を言うてしまうことがあります。そして相手に嫌なことを言ってしまった後で後悔します。

私たちは相手を傷つけることで自分も傷つけてしまいます。ですので、私は自分と相手を傷つけたことを神様に悔い改めて、お祈りしたいです。そして、神様に助けてもらいながらいつでも優しい言葉をかけられるように、祈りながら変わっていきたいです。箴言 15 章 1 節のみことばを身につけたいです。

「柔らかな応えは憤りを静める。しかし、はげしい言葉は怒りを引き起こす。」

【支援のお願い】

レイモンド学園では 13 名の児童・生徒が元気に日々学んでいます。フルタイムのスタッフは牧師以外で 4 名、そしてボランティアスタッフとして 4 名の方が各クラスを教えて下さっています。

13 名の生徒は個性豊かでそれぞれの素晴らしさが光っています。学年に 2 人以上いるのは 5 年生と中学 1 年生だけです。個人的に深い関わりをしつつ、しかし他学年と合同の活動も有るので、皆が仲良く助け合い、競い合い、影響を与え合いながら豊かに成長しています。

クリスチャンスクールならではの活動も取り入れながら毎日の一步一步を歩んでいます。これからもどうぞお祈りに覚えていただけますよう、宜しく願いいたします。またご支援を賜れましたら幸いです。

主に栄光をお返ししつつ。

学園長 伊東美穂

支援献金振込先

郵便振替 00230-8-38999 レイモンド学園 伊東献仁

神様の祝福を皆様の上に心よりお祈り申し上げます。